

平成 30 年 9 月 5 日

大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立極地研究所

国立研究開発法人 海洋研究開発機構

国立大学法人 北海道大学

北極域研究推進プロジェクト(ArCS)の公開講演会 『北極の環境変化と人々への影響』を開催します

国立極地研究所(所長:中村卓司)が代表機関を、海洋研究開発機構(理事長:平朝彦)および北海道大学(総長:名和豊春)が副代表機関を務める北極域研究推進プロジェクト(ArCS※)では、2018年11月9日(金)に公開講演会『北極の環境変化と人々への影響』を開催します。この講演会では、現在の気候変動研究に基づく北極の自然界の物理的変化を紹介するとともに、北極域の持続的発展を可能とする要素が自然環境の変化から受ける影響について論じます。

<開催概要>

2018年度北極域研究推進プロジェクト公開講演会

『北極の環境変化と人々への影響』

日 時 : 2018年11月9日(金)17:30~20:30(17:00開場)

場 所 : 一橋講堂(東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター2F)

共同主催 : 情報・システム研究機構 国立極地研究所、海洋研究開発機構、北海道大学

参加方法 : ウェブサイトからの事前申し込み制

(<http://www.arcs-pro.jp/20181109kouenkai/>)

先着 400 名、参加無料

主な対象 : 大学生以上の一般

内 容 :

◇講演

北極域での観測活動やモデルを使った将来予測などから見えてきた北極の姿を、北極研究の最前線に立つ研究者たちをご紹介します。

・暖まる大気と大地ー北極周辺の気候変動とその影響のつながり

飯島 慈裕(三重大学 准教授/ArCS テーマ 4・7 研究協力者)

・近年のグリーンランド氷床表面の暗色化

青木 輝夫(岡山大学 教授/ArCS テーマ 2・3 研究協力者)

・海氷減少と海洋環境の変化

菊地 隆(海洋研究開発機構 上席技術研究員/ArCS テーマ 4 実施責任者)

◇パネルディスカッション「北極域の環境変化のインパクト」

研究から徐々に見えてきた北極の将来の姿を踏まえて、さらに科学は何をなし得るのかを考えます。

モデレーター

室山 哲也(元 日本放送協会解説主幹)

パネリスト

飯島 慈裕(三重大学 准教授／ArCS テーマ 4・7 研究協力者)

内田 雅己(国立極地研究所 准教授／ArCS テーマ 6 実施担当者)

大塚 夏彦(北海道大学 教授／ArCS テーマ 7 実施担当者)

近藤 祉秋(北海道大学 助教／ArCS テーマ 7 実施担当者)

下田 高明(株式会社ロイヤルグリーンランドジャパン 代表取締役)

<注>

※ 北極域研究推進プロジェクト(ArCS: Arctic Challenge for Sustainability)

2015年9月から始まった文部科学省の補助事業です。国立極地研究所および海洋研究開発機構、北海道大学の3機関が中心となって、急変する北極域の気候変動の解明と環境変化、社会への影響を明らかにし、内外のステークホルダーが持続可能な北極の利用等の諸課題について適切な判断を可能とする精度の高い将来予測や環境影響評価等を行うことを目的としています。

北極域研究推進プロジェクトのウェブサイト <http://www.arcs-pro.jp/>

別紙資料

公開講演会ちらし

お問い合わせ先

(報道について)

国立極地研究所 広報室

TEL: 042-512-0655 FAX: 042-528-3105 E-mail: kofositu@nipr.ac.jp

(北極域研究推進プロジェクトに関して、講演会の内容について)

国立極地研究所 国際北極環境研究センター

柿本 晃治郎(かきもと こうじろう)／辻 勇氣(つじ ゆうき)

TEL: 042-512-0915 E-mail: arcs@nipr.ac.jp



2018年度北極域研究推進プロジェクト公開講演会

北極の環境変化と人々への影響

参加無料
先着400名様

日時

2018年11月9日(金)
17:30~20:30 (開場17:00)

会場

一橋講堂

東京都千代田区一ツ橋 2-1-2
学術総合センター2F

東京メトロ半蔵門線/都営三田線/都営新宿線
神保町駅(A8・A9 出口) 徒歩4分
東京メトロ東西線 竹橋駅(1b 出口) 徒歩4分



北極でいま、何が起きているのか。
それは、私たちの生活にどんな影響を与え、
彼の地に生きる人々の暮らしにどんな変化をもたらすのか。
事実を科学的に理解することから始めませんか。

■ 共同主催



■ 申込・詳細 ▶



2018年度北極域研究推進プロジェクト公開講演会

北極の環境変化と人々への影響

私たちや北極域の人々の持続的かつ強靱な社会生活を実現するためには、急激に進む北極域の気候変動を正しく理解し、科学研究をさらに進めていく必要があります。北極の陸や海にどのような変化が起きていて、それが日本や世界の人々にどのような影響を及ぼしているのかをご紹介します。

《第1部》講演

北極域での観測活動やモデルを使った将来予測などから見てきた北極の姿を、北極研究の最前線に立つ研究者たちがご紹介します。

講演1 17:45~18:10

暖まる大気と大地ー北極周辺の気候変動とその影響のつながり

飯島 慈裕 (三重大学 生物資源学研究所 准教授/ArCSテーマ4・7研究協力者)

講演2 18:10~18:35

近年のグリーンランド氷床表面の暗色化

青木 輝夫 (岡山大学 大学院自然科学研究科 理学部地球科学科 教授/ArCSテーマ2・3研究協力者)

講演3 18:35~19:00

海水減少と海洋環境の変化

菊地 隆 (海洋研究開発機構 北極環境変動総合研究センター 上席技術研究員/ArCSテーマ4実施責任者)

《第2部》パネルディスカッション

研究から徐々に見えてきた北極の将来の姿を踏まえて、さらに科学が何をなしえるのかを考えます。

19:15~20:25

北極域の環境変化のインパクト

モデレーター 室山 哲也 (元・日本放送協会 解説主幹)

パネリスト 飯島 慈裕 (三重大学 生物資源学研究所 准教授/ArCSテーマ4・7研究協力者)

内田 雅己 (国立極地研究所 国際北極環境研究センター 准教授/ArCSテーマ6実施担当者)

大塚 夏彦 (北海道大学 北極域研究センター 教授/ArCSテーマ7実施担当者)

近藤 祉秋 (北海道大学 アイヌ・先住民研究センター 助教/ArCSテーマ7実施担当者)

下田 高明 (株式会社ロイヤルグリーンランドジャパン 代表取締役)



会場案内

一橋講堂 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター2F

《アクセス》

東京メトロ半蔵門線/都営三田線/都営新宿線 神保町駅(A8・A9 出口) 徒歩 4分
東京メトロ東西線 竹橋駅(1b 出口) 徒歩 4分

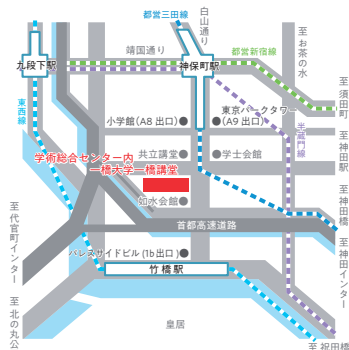
■お問い合わせ先

情報・システム研究機構 国立極地研究所 国際北極環境研究センター

e-mail: arcs@nipr.ac.jp TEL: 042-512-0915

■お申し込み・詳しくは

<https://www.arcs-pro.jp/20181109kouenkai/>



*プログラムは都合により変更する場合があります。